

恵那市環境基本計画の改定方針（案）

現行計画で重視してきたこと

【計画の理念】

人・地域・自然が調和した交流都市 ～青と緑と太陽と土を生かす～

- 青：澄んだ空気と水
 - 緑：多くの森林に代表される自然
 - 太陽：自然の恵みを感じることのできる健康
 - 土：大地の恵みを受けた生活や大地に根ざした人の活動
- 地域によって異なる環境への取組みの考え方や活動度を生かす
- 環境の現状と課題を踏まえた重点テーマ（基本目標）の設定
- ・荒廃が見られる森林の整備や生物多様性の保全
 - ・貴重な水源地としての水環境の保全
 - ・不法投棄の防止・ごみ処理方法の適正化などのごみ問題の改善
 - ・地球規模の環境問題解決への貢献
 - ・環境問題や環境保全に向けたしくみ作り・環境学習の推進

上位・関連計画のポイント

■第2次恵那市総合計画【将来像（目指すまちの姿）】

人・地域・自然が輝く交流都市 ～誇り・愛着を持ち住み続けるまち～

■岐阜県環境基本計画（第5次）【基本理念】

新しい世代へと守り育てる「清流の国ぎふ」づくり

- 基本目標Ⅰ 環境に配慮する持続可能な仕組みを創る
- 基本目標Ⅱ 豊かで美しい環境を守り伝える人を育てる

恵那市の環境の強みと弱み

【恵那市の環境の強み（活かし、伸ばす）】

- 多面的な機能を有する豊かな森林環境（市域の約8割が森林）
- 人々の暮らしと共に築きあげられた里山環境や田園風景
- 河川やため池、ダム湖等の多様な水辺環境
- 地域性を活かした再生可能エネルギーの導入検討の取組み
- ごみ処理に対する高い意識
- 地域自治区（市内13地域自治区）によるまちづくりの動き など

【恵那市の環境の弱み（改善する）】

- 農業、林業の担い手不足に伴う自然環境の劣化
- 自然とふれ合える・親しめる環境の不足
- 地球温暖化防止及び適応への対策強化
- 子どもエコクラブや環境に関する市民活動の活性化
- 県、近隣市、流域圏等との広域的な連携体制の構築 など

計画改定にあたっての視点、今後の方向性

【計画改定にあたっての視点】

- 視点1 持続可能な社会の実現**
○“安全”の確保を前提に“低炭素”“循環”“自然共生”の各分野の統合的な達成により持続可能な社会を実現する。
- 視点2 持続可能な社会を未来へとつなぐ仕組みづくり**
○暮らしと環境との関わりを再認識し、豊かで美しい環境を守り伝える人を育てる。
- 視点3 市域全体の将来像と各地域での方針の設定**
○地域によって異なる環境への取組みの考え方を生かしつつ、市域全体の統一感のある将来像・理念を示す。
- 視点4 環境施策の再配置、目標指標の再検討**
○継続予定の環境施策の再配置及び新規施策の追加検討、目標指標の再検討を行う。
- 視点5 広域的な連携・協働のあり方の追加**
○持続可能な社会の実現に向けた岐阜県、近隣市、流域圏との連携・協働のあり方を示す。

【今後の方向性】

- 方向性1 自然や生きものとのふれあいの機会・場の創出**
○豊かな自然環境の保全を図るとともに、こうした自然や生きもの（生物多様性）とのふれあいや活用を推進する。
- 方向性2 省エネ推進・再エネ導入による地球温暖化対策の推進**
○地球温暖化対策（抑制・適応）に向けて、省エネルギー行動の推進、再生可能エネルギーの導入促進を図る。
- 方向性3 適正なごみ処理による循環型社会の構築**
○廃棄物のさらなる減量化、リサイクル・適正処理の推進により、自然界と経済社会における循環の調和のとれた社会をめざす。
- 方向性4 多面的機能を有する森林環境の保全・再生**
○水源かん養や土砂災害防止、気候緩和等の暮らしを支える多面的機能を有する森林環境の保全・再生を図る。
- 方向性5 持続可能な社会を創る仕組みづくり・人づくり**
○多様な主体との連携・協働、環境教育・環境学習の推進等、持続可能な社会を創る仕組みづくり・人づくりを進める。

将来像・基本理念

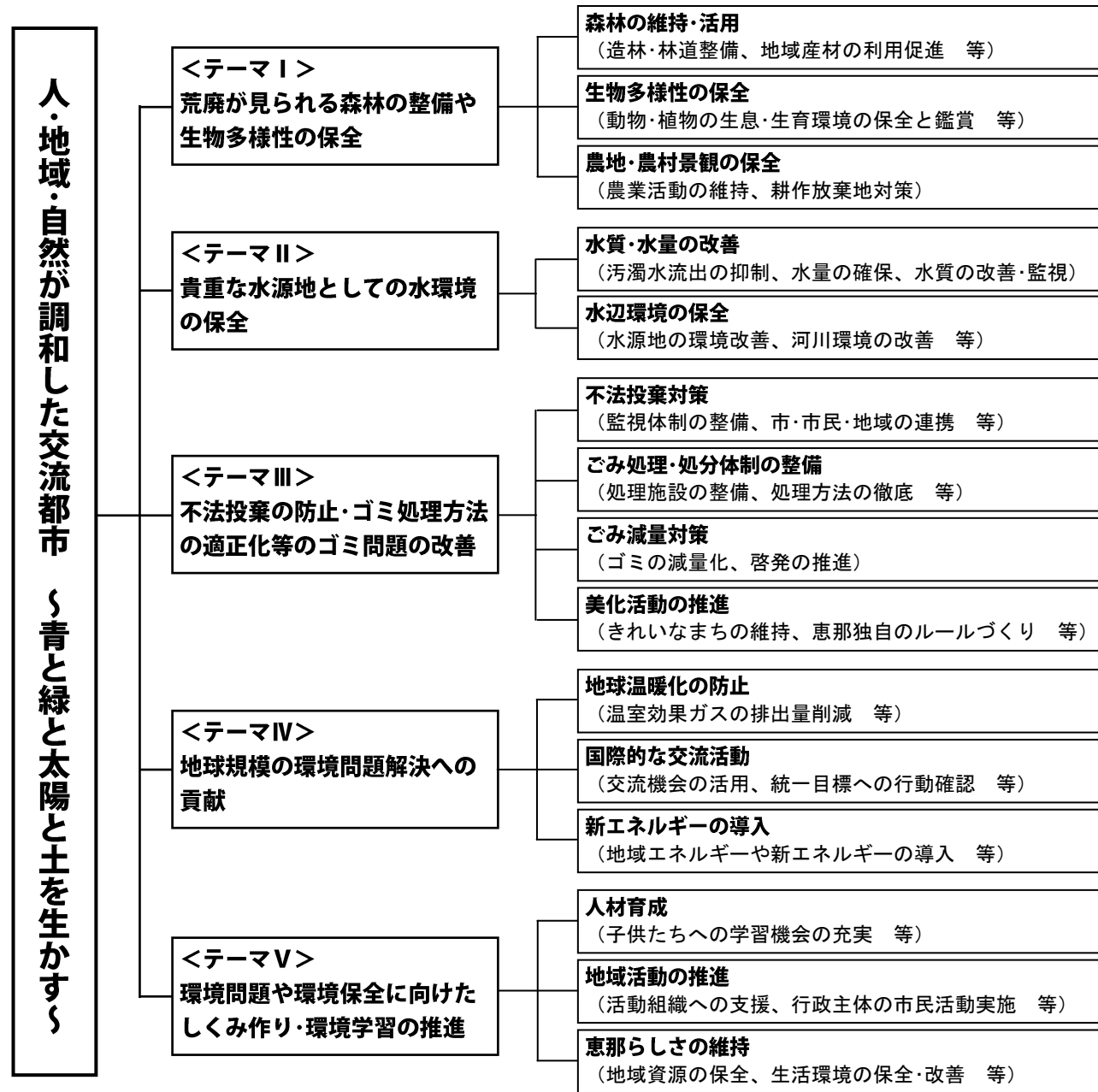
人・地域・自然が輝く交流都市 ～青と緑と太陽と土を生かす～

- 「人・地域・自然が輝く交流都市」は、恵那市の最上位計画である第2次恵那市総合計画におけるまちの将来像である。
- 国の第四次環境基本計画では、環境行政の究極目標として「持続可能な社会の実現」を掲げており、岐阜県が策定を進めている岐阜県環境基本計画（第5次）では、持続可能な社会を支える仕組みづくり、新しい世代へと守り伝える人づくりを目標に掲げている。
- これらを踏まえ、恵那市の豊かで美しい自然環境を守り、生かし、色褪せることなく新しい世代へと継承していくことのできる持続可能な社会を創造することを基本理念とする。

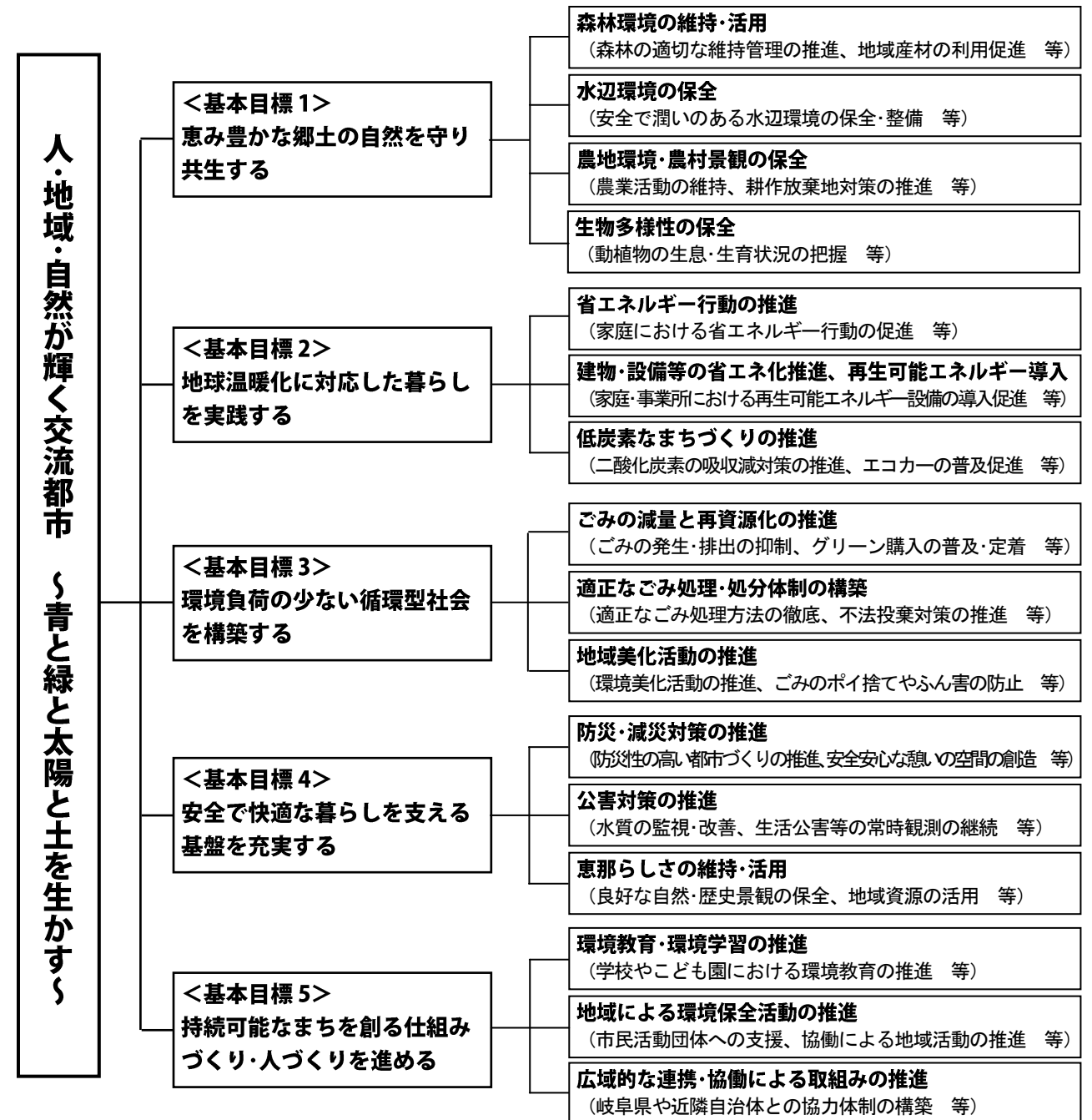
基本目標

- 基本目標1 恵み豊かな郷土の自然を守り共生する**
○持続可能なまちを構成する“自然共生社会”の実現に向けた目標。
○山林や農地、水辺といった豊かな水や緑の保全を図るとともに、生物多様性の確保、自然とのふれあいの機会・場の創出を図る。
- 基本目標2 地球温暖化に対応した暮らしを実践する**
○持続可能なまちを構成する“低炭素社会”の実現に向けた目標。
○家庭・事業所等における省エネルギー行動の推進や、地域性を生かした再生可能エネルギーの導入により、地球温暖化を防止し適応する。
- 基本目標3 環境負荷の少ない循環型社会を構築する**
○持続可能なまちを構成する“資源循環社会”の実現に向けた目標。
○ごみ減量化のさらなる推進と資源の有効活用の推進により、環境への負荷の少ない循環型社会を構築する。
- 基本目標4 安全で快適な暮らしを支える基盤を充実する**
○持続可能なまちを構成する“安全安心社会”の実現に向けた目標。
○土砂災害防止機能を有する森林の保全、地域における防災・減災体制の充実、公害対策の推進等により、安全で快適な暮らしを支える基盤を充実する
- 基本目標5 持続可能なまちを創る仕組みづくり・人づくりを進める**
○持続可能なまちを創るための総合的な施策推進に関する目標。
○岐阜県や近隣市、流域圏自治体、市民・事業者等の多様な主体との連携・協働や、子どもたちへの環境教育、地域での環境学習を推進する。

現行計画の施策体系図



改定計画の施策体系図



大井地域自治区

- ・笑顔であいさつのできる元気なまち
- ・美しい環境を大切に未来の子どもたちにつなぐまち
- ・中山道でつなぐ名勝旧跡ロマンのまち

長島地域自治区

- ・健康と福祉が充実し、歴史・文化を育む豊かなまち 長島

東野地域自治区

- ・自然豊かな世代の調和した元気な東野

三郷地域自治区

- ・結いのまち：ほっと（ほっとする、安心する、安らぐ）ブレッジみさと

武並地域自治区

- ・「出会い・ふれあい・助け合い」心通じ合うまち

笠置地域自治区

- ・自然・ふるさと・香る笠置

中野方地域自治区

- ・棚田・里山文化を育むおきもりのまち

飯地域自治区

- ・高原パワーで生き生き飯地づくり ～ずくを出してやるまいか～

岩村地域自治区

- ・緑と歴史・文化の香り高い温故知新のまち

山岡地域自治区

- ・人と自然が共生する町 ～健康で安心して暮らせる町～

明智地域自治区

- ・自然・歴史・文化を活かし、住民や来訪者が安心して楽しくすごせるまち

串原地域自治区

- ・自然と文化を育む笑顔あふれる交流のまち

上矢作地域自治区

- ・人と自然がお互いに生かし合えるまち

第2次恵那市
総合計画地域計画
との整合を図る